

令和 4 年度札幌市保育士等実態調査

調査結果

札幌市子ども未来局

目次

1. 認可保育施設に対する調査.....	- 1 -
1.1 調査の概要.....	- 1 -
(1) 調査目的.....	- 1 -
(2) 調査概要.....	- 1 -
1.2 調査結果.....	- 2 -
(1) 保育士・保育教諭等の在籍数.....	- 2 -
(2) 保育士・保育教諭等の初任給.....	- 5 -
(3) 職員の給与・在籍期間等.....	- 8 -
(4) 保育士・保育教諭等の人材確保状況.....	- 20 -
2. 保育士養成校に対する調査.....	- 24 -
2.1 調査の概要.....	- 24 -
(1) 調査概要.....	- 24 -
(2) 卒業後の進路.....	- 25 -
(3) 就職先を見つける方法.....	- 27 -
(4) 早期離職を防ぐための支援.....	- 28 -
(5) 学生に人気の高い保育施設の傾向.....	- 28 -

1. 認可保育施設に対する調査

1.1 調査の概要

(1) 調査目的

平成 27 年度から子ども・子育て支援新制度が始まり、増加した保育ニーズに対応するため、札幌市では、「さっぽろ子ども未来プラン」に基づき、認可保育施設等の計画的な整備を進めてきた。

これに伴い、保育士など保育施設で従事する職員が増加しており、近年、保育士の有効求人倍率は全職種平均を大きく上回る状況が続くなど、保育の担い手の確保が喫緊の課題となっている。

札幌市では、保育人材の確保支援等に取り組んでいるところだが、複雑・多様化する新たな保育ニーズへの対応が求められるなど、保育人材の高い需要は今後も続いていくものと考えられる。

こうした状況をふまえ、より効果的、効率的な施策展開を図るため、保育士等職員の在籍人数や給与、就労期間、保育士の充足状況等について調査、分析を行い、各事業の効果及びその経年変化の把握、事業の立案等に向けた基礎資料とするため、「令和 4 年度札幌市保育士等実態調査」として取りまとめたものである。

(2) 調査概要

対象施設種別：札幌市内の認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所 ※公立園を除く

対象施設数：535 施設（認可保育所 228、認定こども園 157、地域型保育事業所 150）

回 答 数：494 施設（92.3%）

対 象 期 間：令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

※ただし、給与等は、令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月に支給されたものとしている。

調 査 方 法：札幌市が保有する対象施設の給付費等の資料に基づくほか、「保育人材確保に関するアンケート」をオンラインで実施した。

1.2 調査結果

(1) 保育士・保育教諭等の在籍数

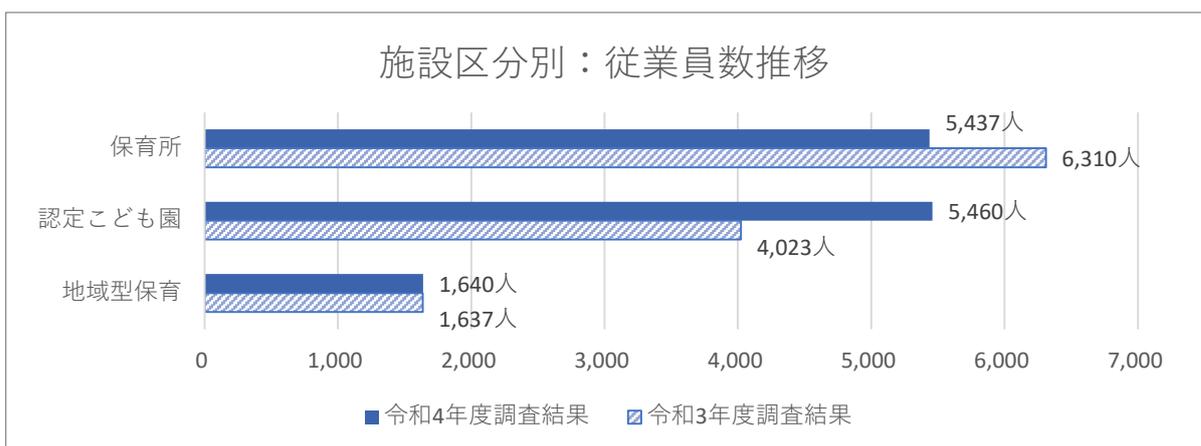
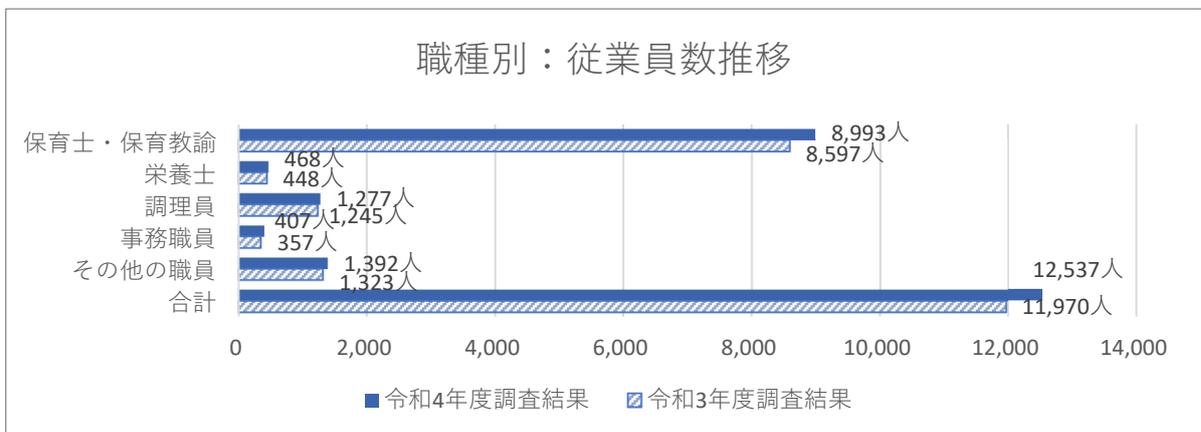
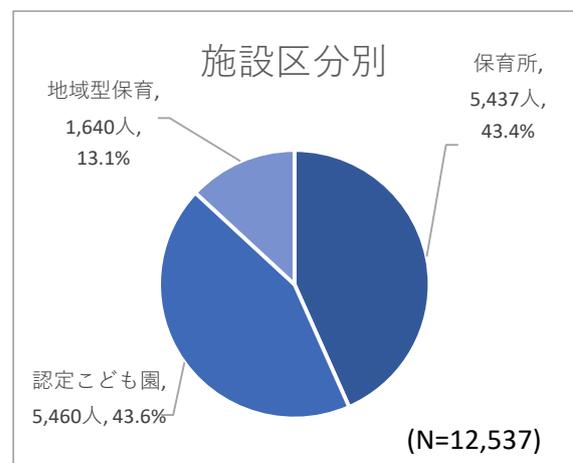
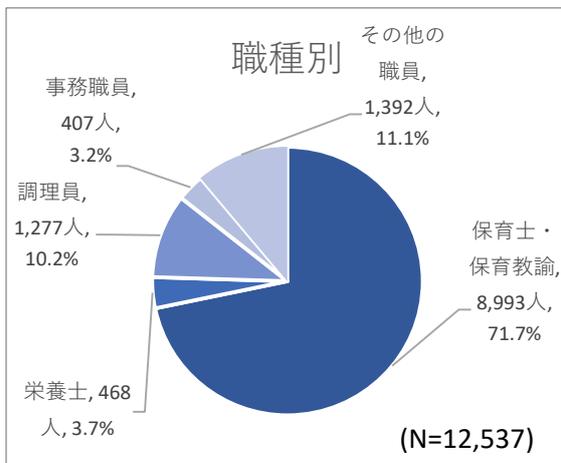
札幌市内の保育施設に従事する従業員数は全体で 12,537 人となった。前回調査では 11,970 人であり、567 人 (4.7%) の増加となった。令和 3 年度から令和 4 年度の間、保育施設は 24 施設増加※しており、それに伴い、職員数も増加している。

※保育所は 22 施設減少し、認定こども園は 46 施設増加した (地域型保育は横ばい)。このうち、認定こども園には、幼稚園から移行した 12 園を含む。

① 保育士・保育教諭等の人数

職種別では、「保育士・保育教諭」は 8,993 人と職員全体の 71.7% を占めている。続いて、「その他の職員」1,392 人 (11.1%)、「調理員」1,277 人 (10.2%)、「栄養士」468 人 (3.7%)、「事務職員」407 人 (3.2%) の順となった。「その他の職員」は、園長、用務員、清掃員、保育支援者などの総数である。

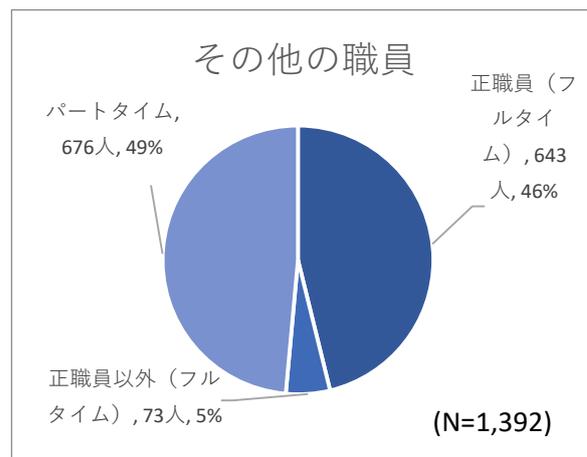
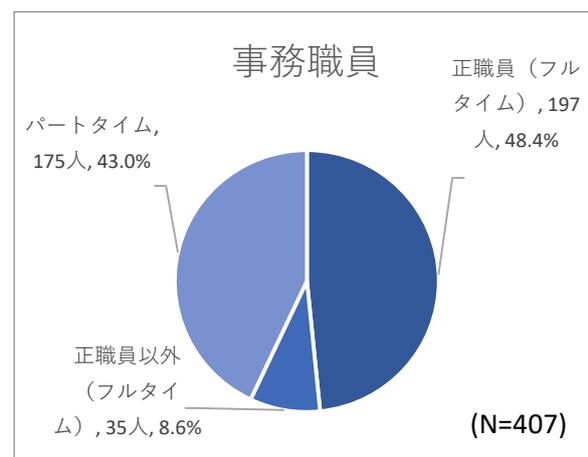
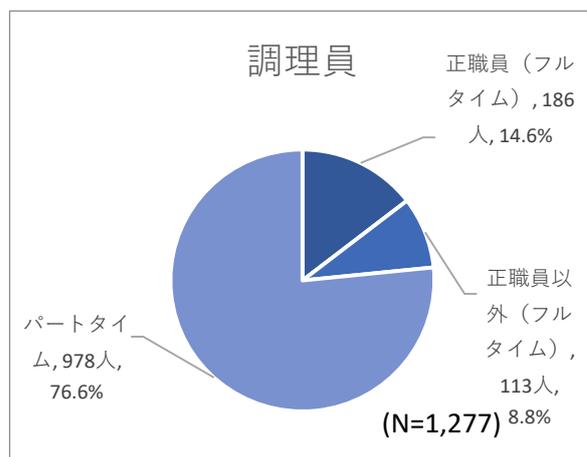
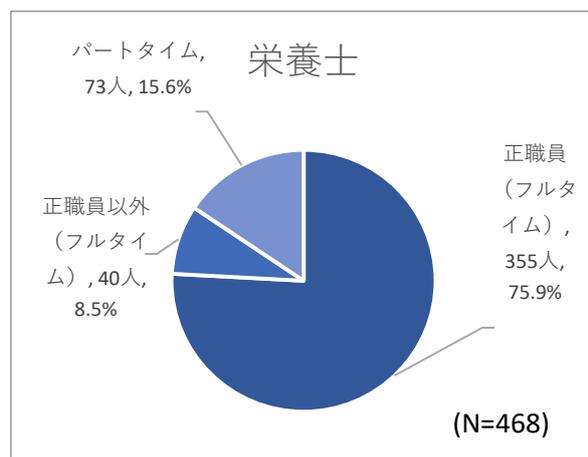
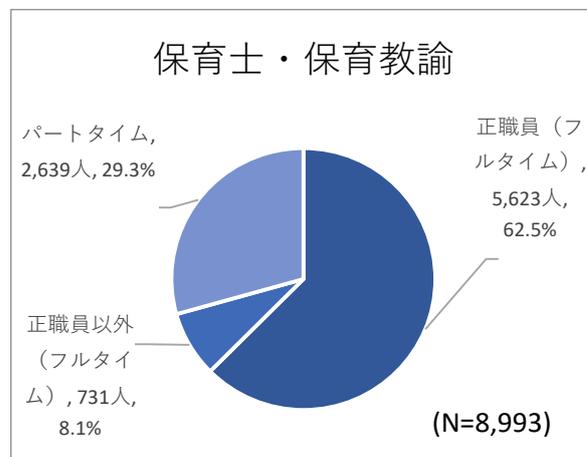
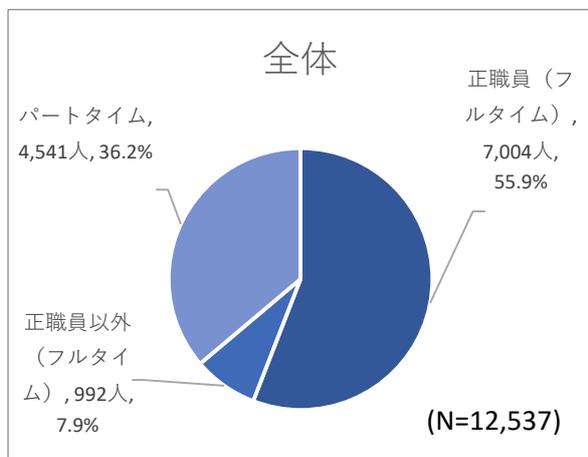
施設区別では、「認定こども園」5,460 人 (43.6%) が「保育所」5,437 人 (43.4%) を初めて上回った。令和 3 年度との比較では、「保育所」が大きく減少する一方で「認定こども園」が大きく増加しており、保育所から認定こども園への移行が進んだ影響などが考えられる。

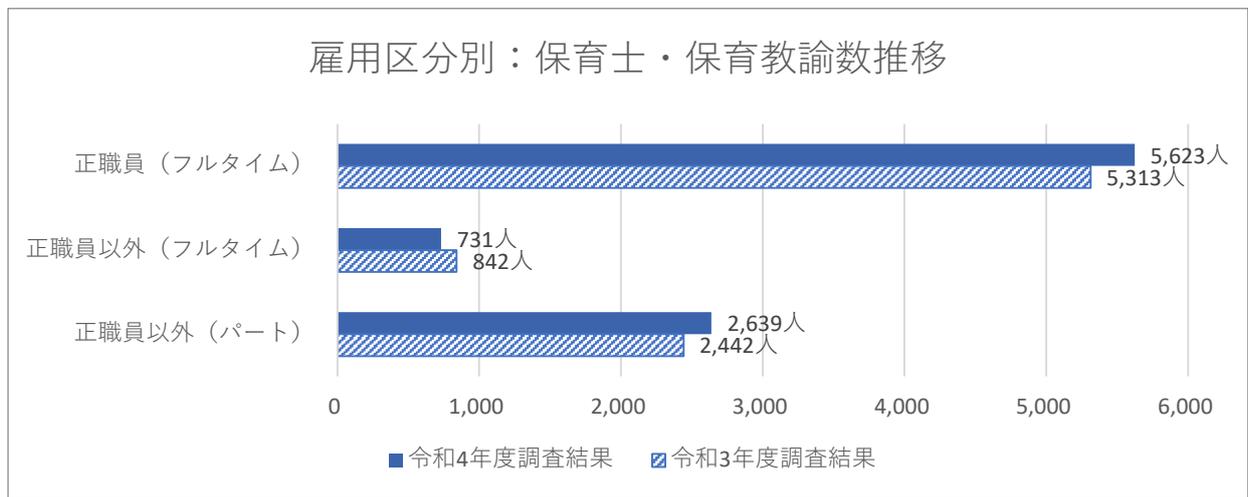


雇用形態別では、従業員全体では「正職員（フルタイム）」が 7,004 人（55.9%）が最も多く、「パートタイム」4,541 人（36.2%）、「正職員以外（フルタイム）」992 人（7.9%）の順となっている。

職種別では、「保育士・保育教諭」、「栄養士」は「正職員（フルタイム）」の割合が高いが、「調理員」は「パートタイム」の割合が高い。「事務職員」、「その他の職員」は「フルタイム」と「パートタイム」がどちらも半数程度となっている。

1 施設当たりの平均従業員数は、23.4 人となっており、従業員規模別では「10～19 人」「20～29 人」の施設が多い。





【1 施設当たりの在籍数（単位：人）】

職 種	雇用形態		パートタイム	合計
	フルタイム 正職員	フルタイム 正職員以外		
保育士・保育教諭	10.5	1.4	4.9	16.8
栄養士	0.7	0.1	0.1	0.9
調理員	0.3	0.2	1.8	2.4
事務職員	0.4	0.1	0.3	0.8
その他の職員	1.2	0.1	1.3	2.6
合 計	13.1	1.9	8.5	23.4

【従業員規模（施設区分別整理）（単位：施設）】

従業員規模	保育所	認定こども園	地域型保育	計
1～9人	8	0	63	71
10～19人	75	11	85	171
20～29人	89	49	2	140
30～39人	47	50	0	97
40～49人	8	27	0	35
50人以上	1	20	0	21
計	228	157	150	535

(2) 保育士・保育教諭等の初任給

① 保育士有資格者の平均初任給

「保育士」及び「保育教諭」を合わせた保育士有資格者の平均初任給のうち、大学卒は193,574円、短大・専門卒は182,843円、全体平均は188,208円となっている。

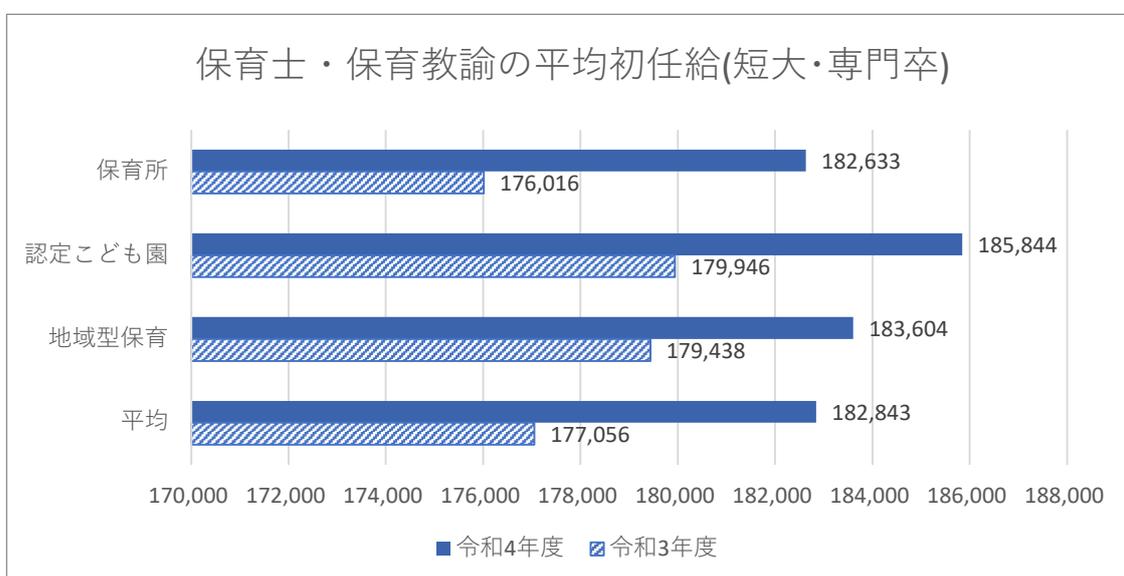
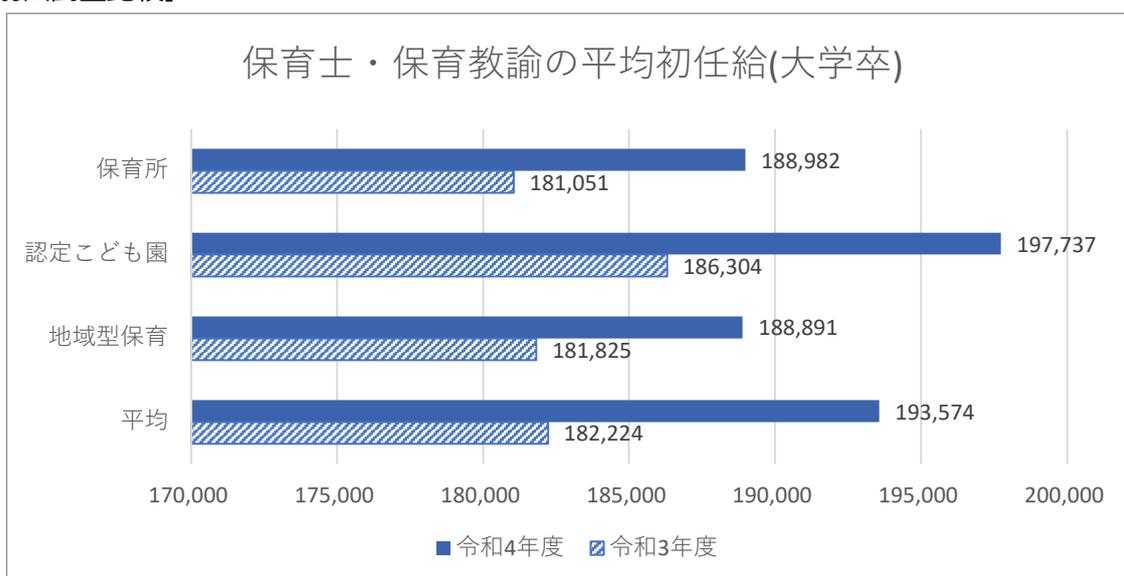
施設区分別では、「認定こども園」が大学卒、短大・専門卒いずれも最も高い結果となった。

令和3年度との比較では、施設区分、学歴区分を問わず、すべての区分で増額となった。特に「認定こども園」の増額幅が大きくなっている。

【施設区分別】

	大学卒(円)	短大・専門卒(円)	全体平均(円)
保育所	188,982	182,633	185,807
認定こども園	197,737	185,844	191,790
地域型保育	188,891	183,604	186,247
全体平均(円)	193,574	182,843	188,208

【前回調査比較】



② 保育士の平均初任給

「保育士」の平均初任給は、大学卒で 187,822 円、短大・専門学校卒で 181,724 円となっている。

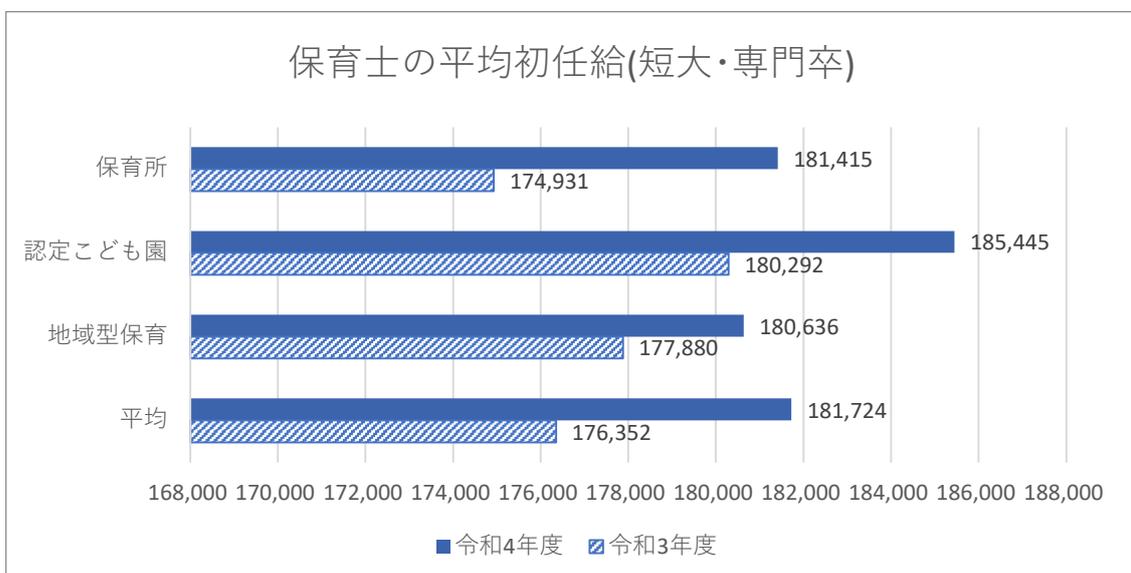
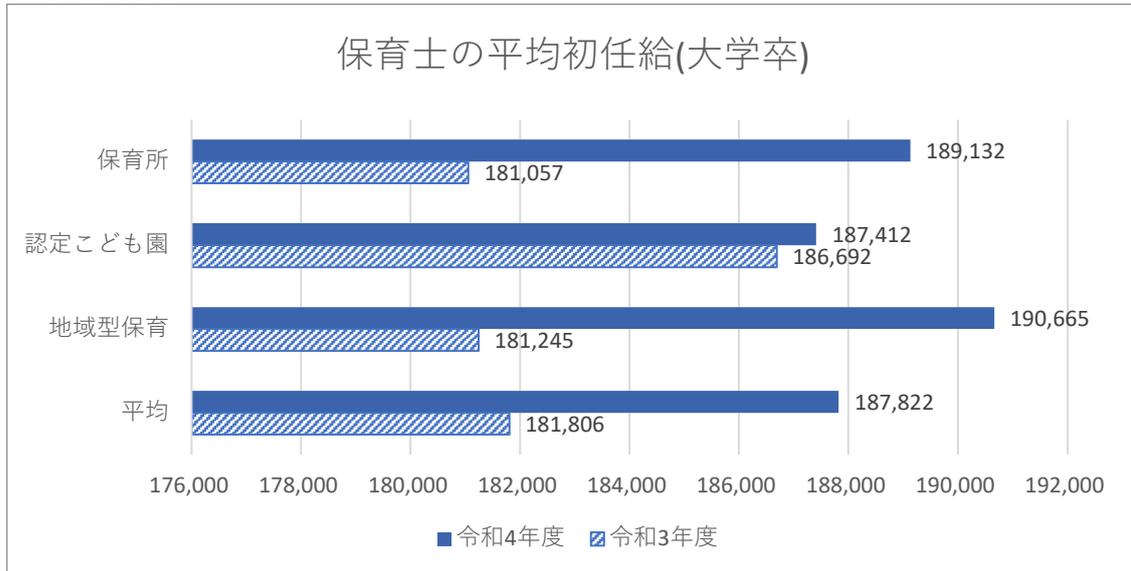
施設区分別では、全体平均は「認定こども園」が最も高いが、学歴でばらつきがある。

令和 3 年度との比較では、施設区分、学歴区分を問わず、すべての区分で増額となった。特に「保育所」「地域型保育」の大学卒の増額幅が大きい。

【施設区分別】

	大学卒(円)	短大・専門卒(円)	全体平均(円)
保育所	189,132 円	181,415 円	185,273 円
認定こども園	187,412 円	185,445 円	186,429 円
地域型保育	190,665 円	180,636 円	185,650 円
全体平均(円)	187,822 円	181,724 円	184,773 円

【前回調査比較】



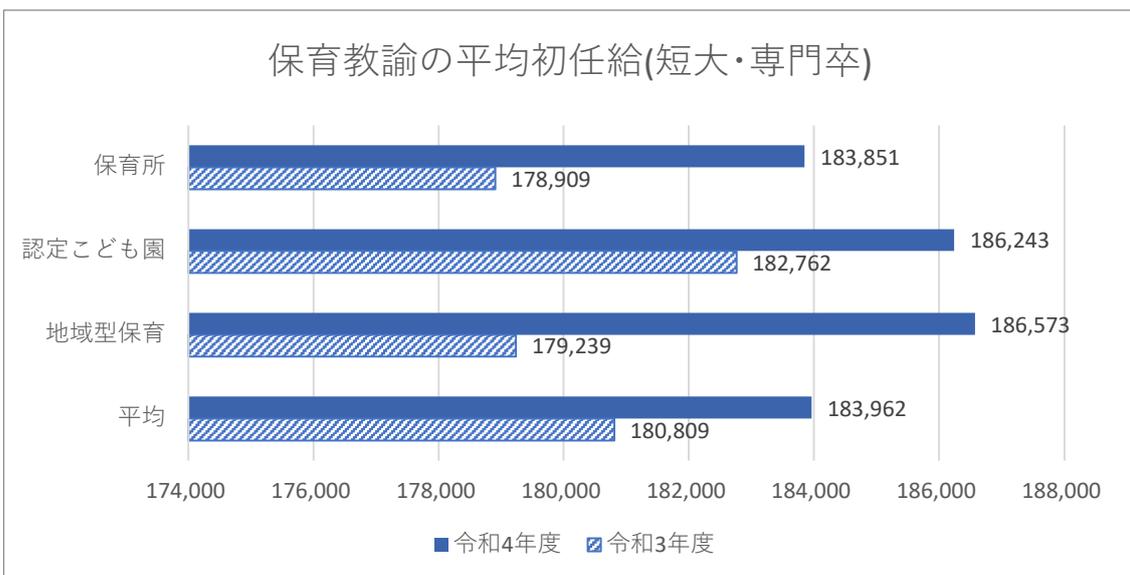
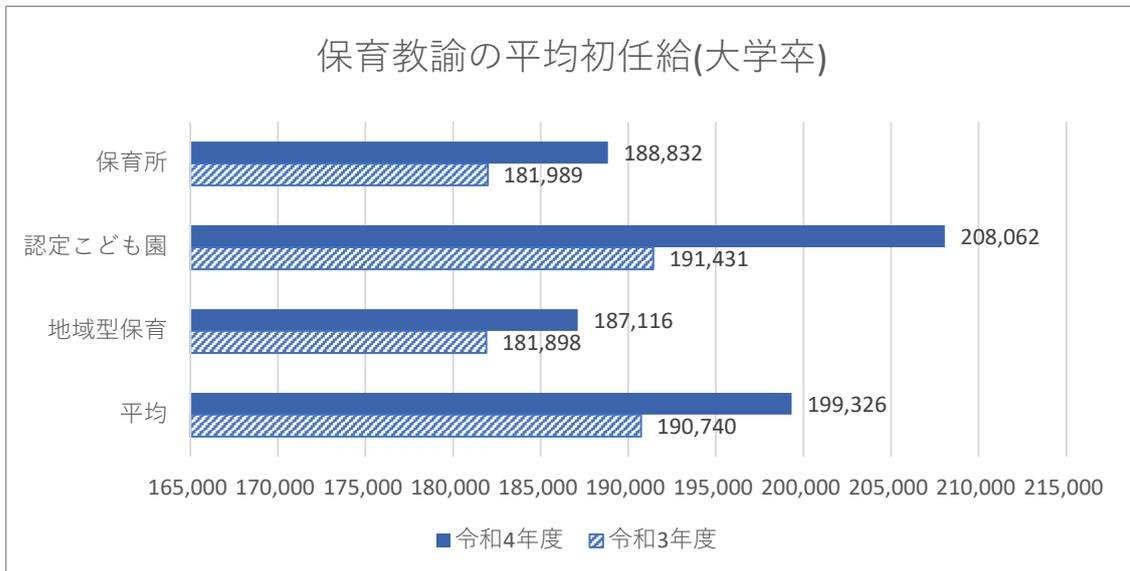
③ 保育教諭の平均初任給

「保育教諭」の平均初任給は、大学卒で 199,326 円、短大・専門卒で 183,962 円となっている。施設区分別では、「認定こども園」が大学卒、短大・専門卒いずれも最も高い結果となった。令和 3 年度との比較では、施設区分、学歴区分を問わず、すべての区分で増額となった。

【施設区分別】

	大学卒(円)	短大・専門卒(円)	全体平均(円)
保育所	188,832 円	183,851 円	186,341 円
認定こども園	208,062 円	186,243 円	197,152 円
地域型保育	187,116 円	186,573 円	186,845 円
全体平均(円)	199,326 円	183,962 円	191,644 円

【前回調査比較】



(3) 職員の給与・在籍期間等

① 保育士・保育教諭の給与・在職期間等（フルタイム勤務者）

保育士・保育教諭（フルタイム勤務者）は、平均年齢 35.1 歳・平均勤続年数 8.0 年・平均年収 380 万円である。前回調査との比較では、勤続年数、月給、賞与、年収が改善されている。

施設区分別では、「保育所」と「認定こども園」に対し、「地域型保育」は給与面で低い傾向にある。従業員規模別では、規模が大きくなるに伴い、給与面も概ね高くなる傾向にある。

【全体平均】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給※1 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
令和 4 年度	4,912	35.1	8.0	256,465	725,987	3,807,009	58.9
令和 3 年度	4,419	35.3	7.8	244,659	714,051	3,670,636	60.2

※1「平均月給」は、賞与を除き、全ての手当を含む。

【施設区分別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
保育所	2,713	35.3	8.4	259,479	862,230	3,871,605	59.2
認定こども園	1,779	33.9	7.2	255,034	731,047	3,783,234	58.7
地域型保育	420	37.9	3.1	243,054	379,675	3,256,550	56.8

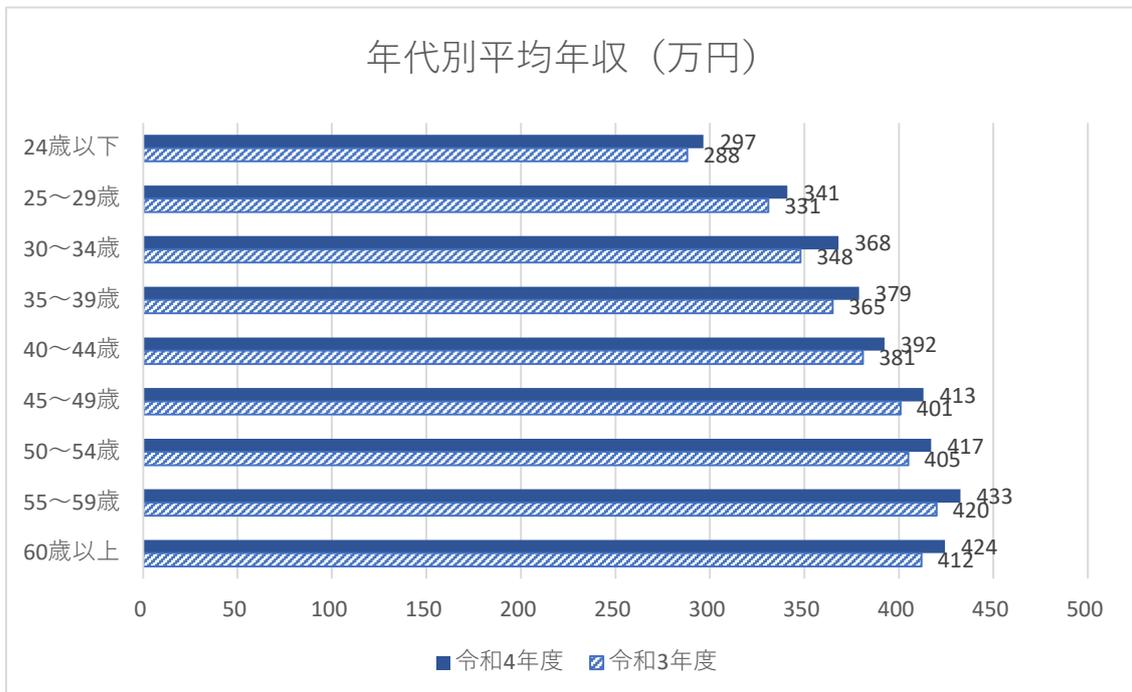
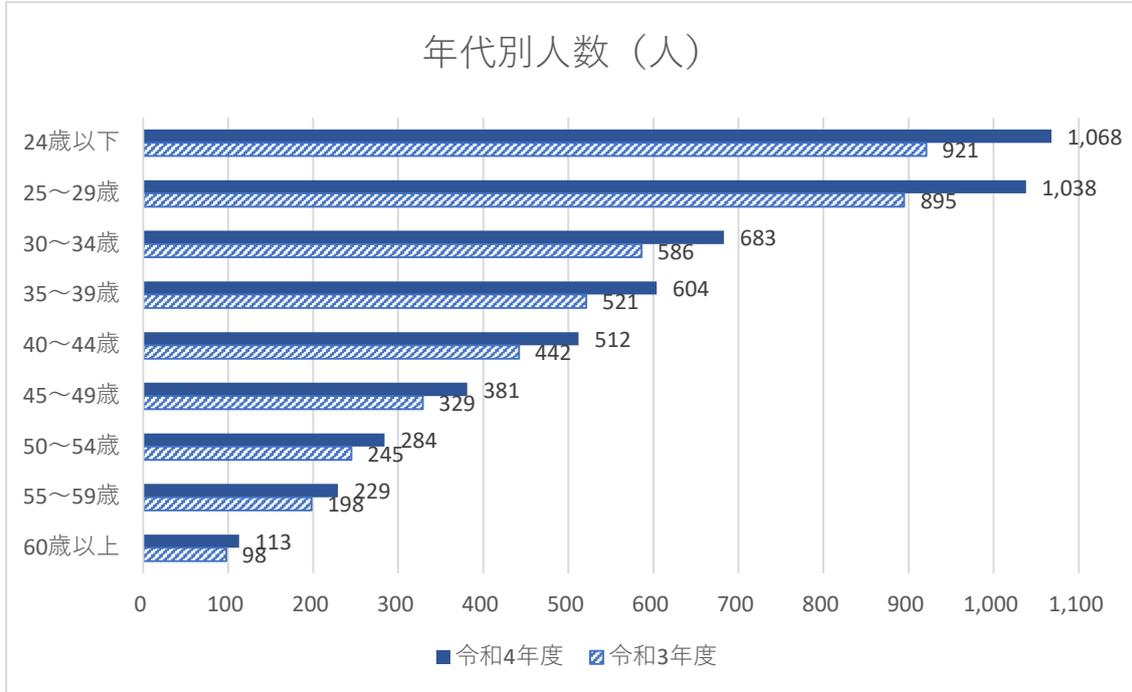
【従業員規模別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
1～9 人	61	37.9	3.5	240,610	325,699	3,213,016	56.8
10～19 人	558	36.2	5.7	247,695	498,879	3,426,522	58.2
20～29 人	1,286	34.7	8.1	258,095	725,146	3,809,320	59.1
30～39 人	1,540	33.6	8.3	259,520	785,851	3,891,930	58.4
40～49 人	941	33.1	7.4	254,862	757,999	3,809,900	59.1
50 人以上	526	32.5	5.8	257,541	764,633	3,833,315	60.8

【年代別】

保育士・保育教諭（フルタイム勤務者）の年代別人数を見ると、「20 歳代」の階層が多く、「30～34 歳」の階層で大きく減少し、その後も年代が上がるにつれて減少が続いている。令和 3 年度との比較においても、その傾向に変化はない。各年代で人数は増えており、特に若年層の増加人数が大きい。

年代別平均年収では、全ての階層で前年から増加しており、「30～34 歳」の増加幅（20 万円）が最も大きい。

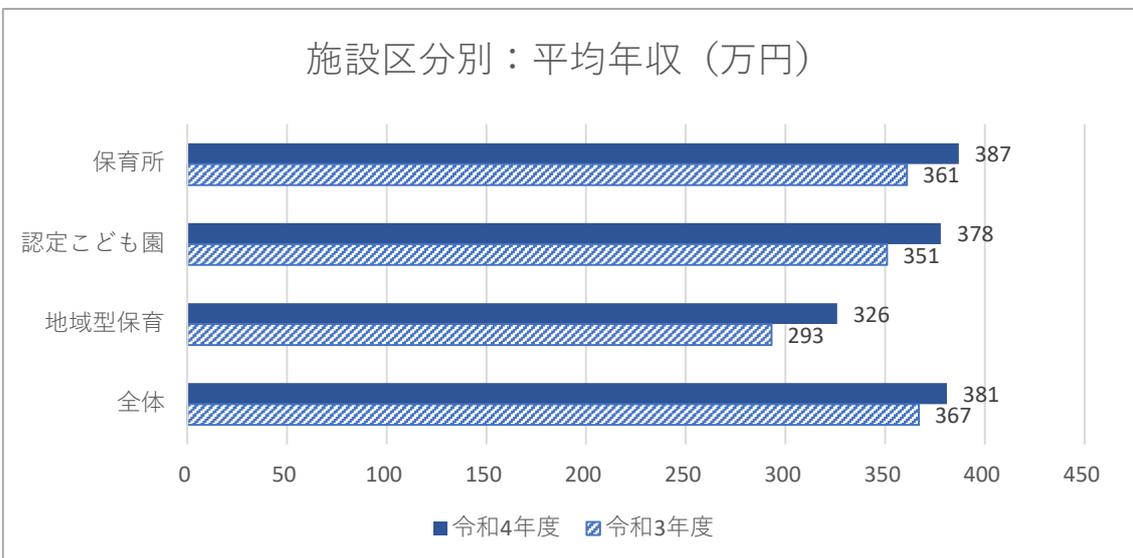
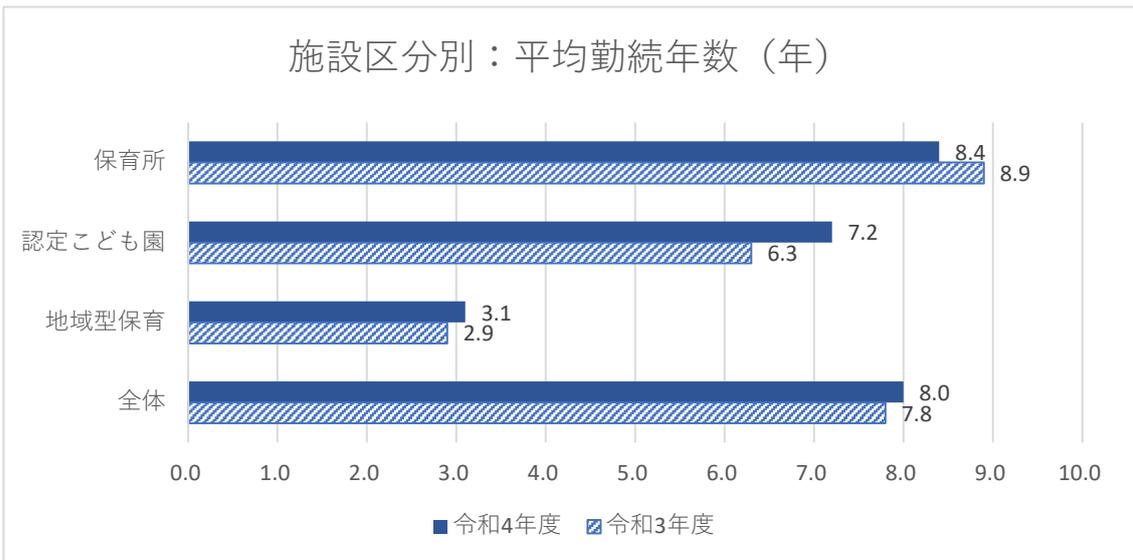
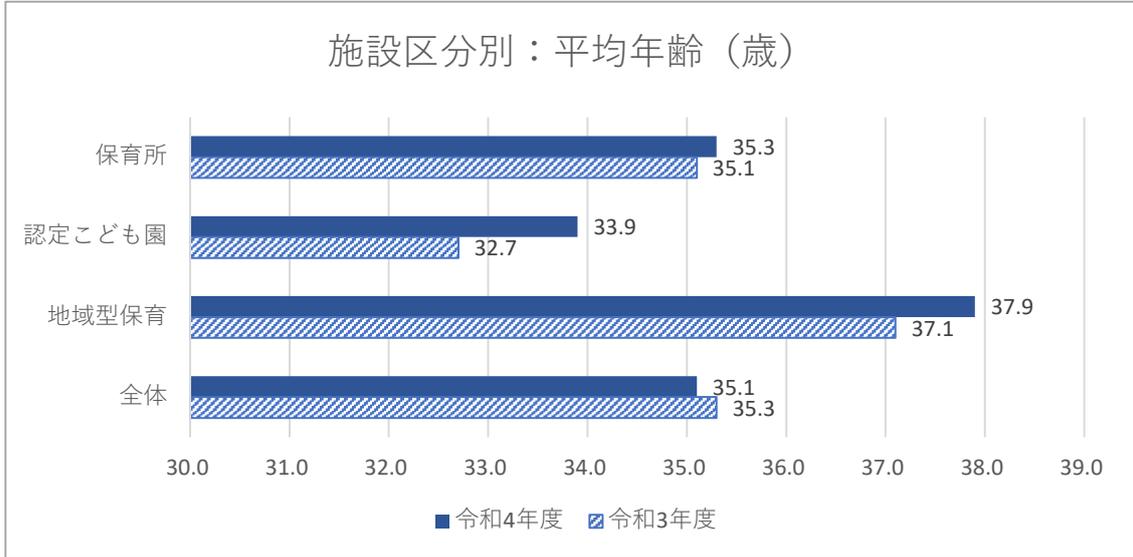


【施設区分別前年比較】

保育士・保育教諭（フルタイム勤務者）を施設区分別に見ると、平均年齢は、「保育所」及び「地域型保育」の平均年齢は35歳を超えており、33.9歳の「認定こども園」と差がある。

平均勤続年数は「保育所」8.4年が最も長く、「認定こども園」7.2年と続くが、「地域型保育」は3.1年と差がある。

平均年収は「保育所」387万円、「認定こども園」378万円に対し、「地域型保育」は326万円であり、大きな差が生じている。



② 保育士・保育教諭の給与・在職期間等（パートタイム勤務者）

保育士・保育教諭（パートタイム勤務者）は、平均年齢 45.8 歳・平均勤続年数 5.1 年・平均月給 90,429 円、時給は 1,088 円である。前回調査との比較では、勤続年数、月給、時給のいずれも改善されている。

施設区分別では、「保育所」と「認定こども園」に対し、「地域型保育」の平均勤務時間、日数が少ないため、月給も低い傾向にある。

従業員規模別では、時給はいずれも同程度だが、平均勤務時間、日数にばらつきがあり、月給にも差が生じている。

【全体平均】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均勤務 時間 (時間/日)	平均勤務 日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
令和4年度	2,224	45.8	5.1	4.4	16.8	90,429	1,088	54.8
令和3年度	1,652	46.5	4.8	5.2	16.1	85,296	1,017	57.3

【施設区分別】

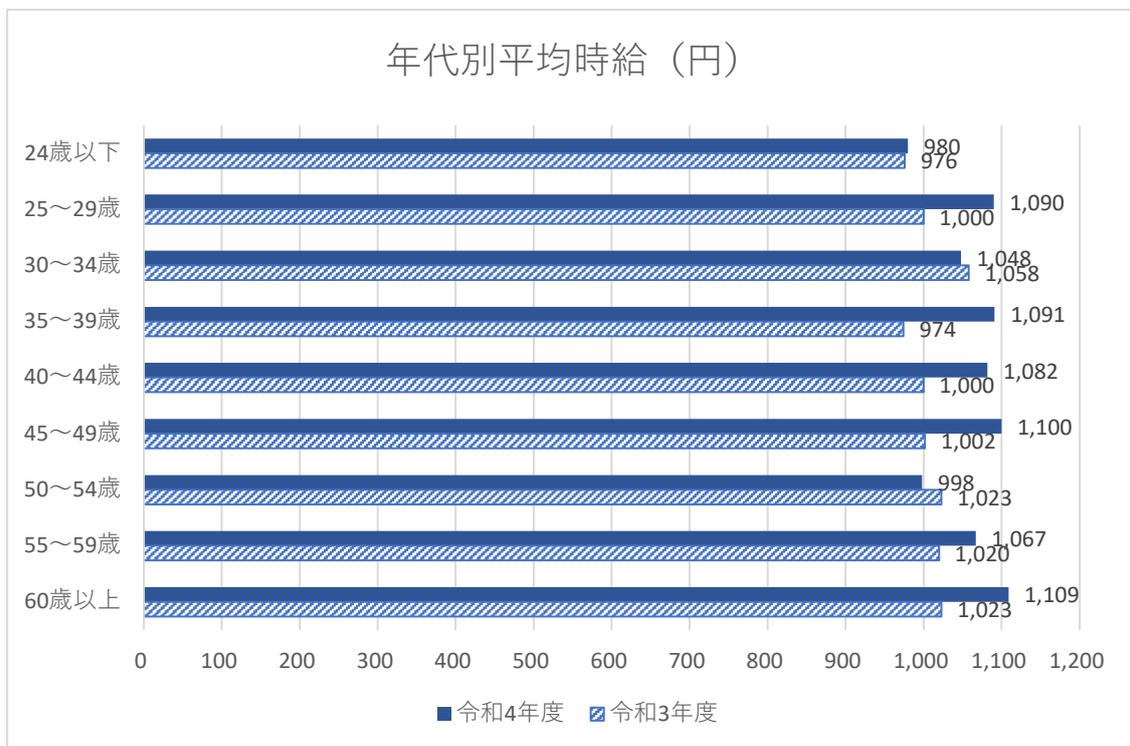
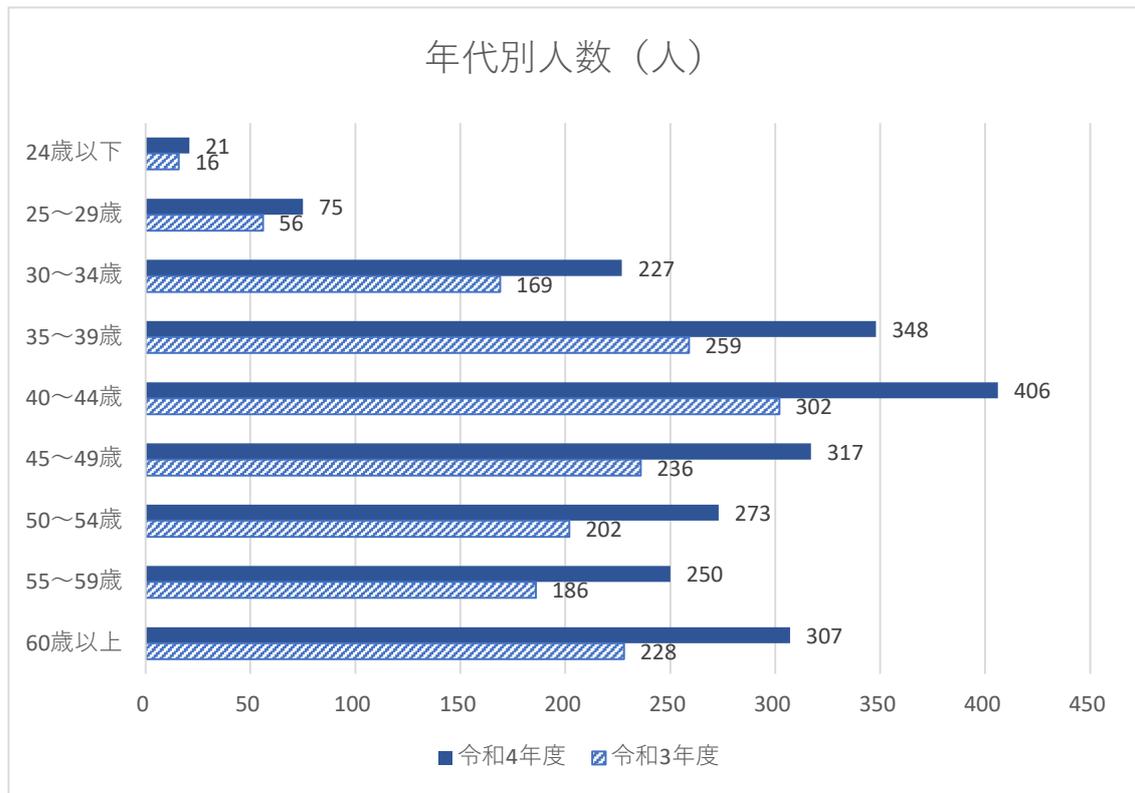
	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均勤務 時間 (時間/日)	平均勤務 日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
保育所	989	45.9	5.0	4.5	17.0	92,255	1,101	55.2
認定こども園	754	45.2	5.2	4.7	17.7	93,608	1,058	54.6
地域型保育	481	46.0	3.4	3.9	15.0	81,691	1,110	52.9

【従業員規模別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均勤務 時間 (時間/日)	平均勤務 日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
1～9人	37	46.2	2.9	4.7	17.9	101,127	1,134	58.0
10～19人	442	44.7	4.2	4.1	15.6	83,946	1,103	56.5
20～29人	496	45.9	4.9	5.3	15.6	85,472	1,108	54.2
30～39人	585	45.8	5.1	4.6	17.6	94,253	1,083	55.2
40～49人	314	45.5	4.9	4.6	17.4	93,800	1,073	54.8
50人以上	350	45.4	5.2	4.7	18.0	95,095	1,059	55.2

【年代別】

保育士・保育教諭（パートタイム勤務者）の年代別人数を見ると、「35～39歳」「40～44歳」「45～49歳」の中堅層が多く、20歳代の若年層は少ない。また、60歳以上の階層が大きく増えている。年代別平均時給を見ると、令和3年度との比較では、概ねどの年代も改善している。

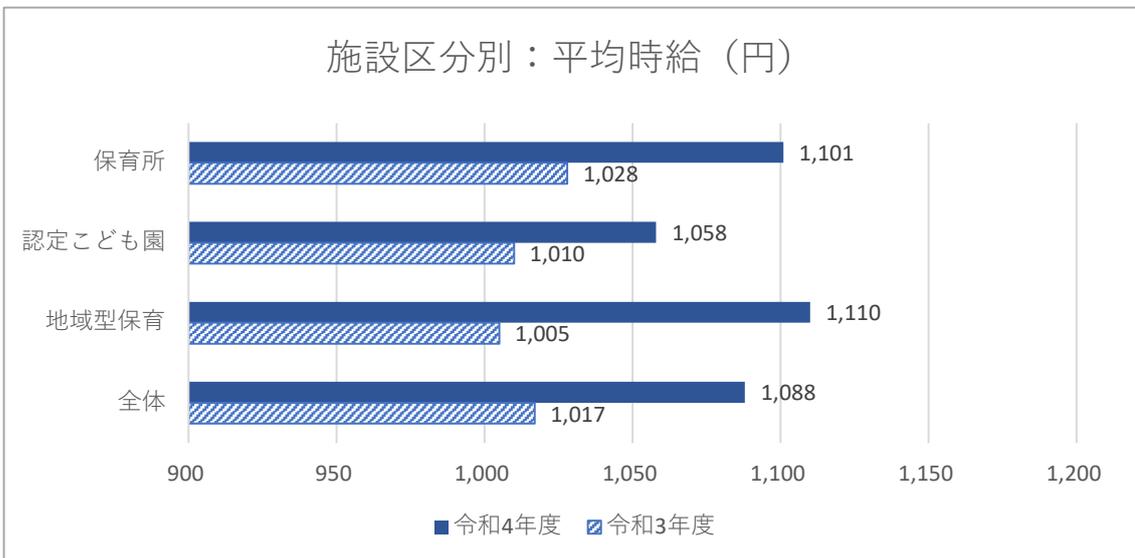
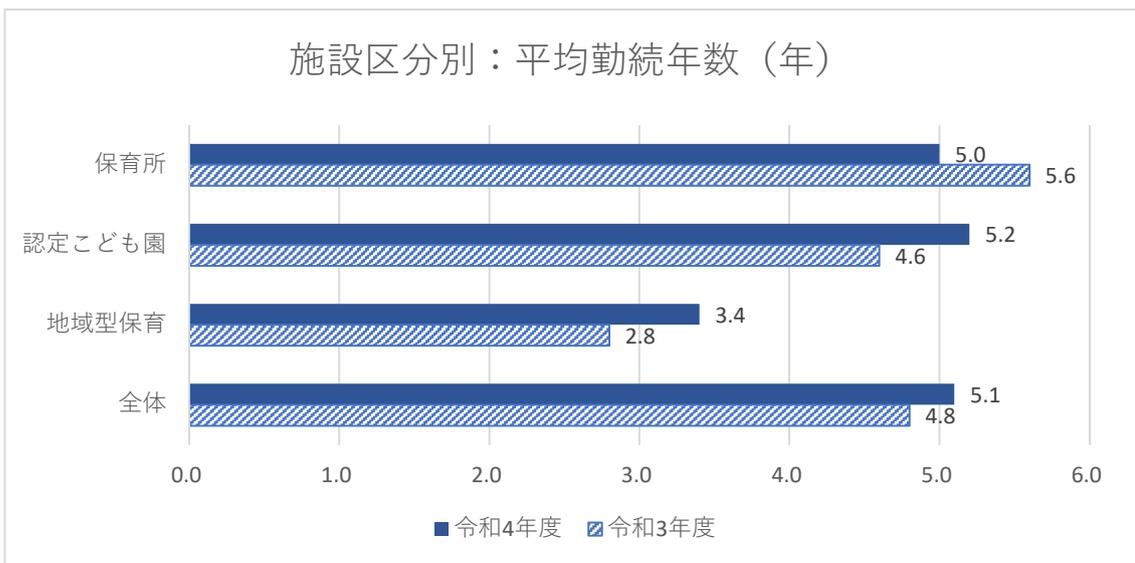
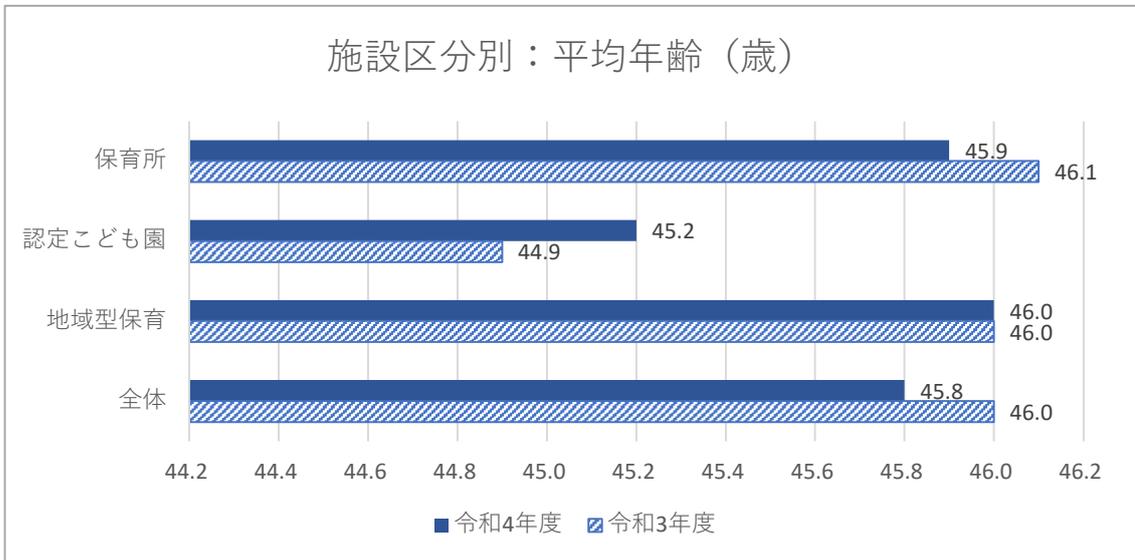


【施設区分別前年比較】

保育士・保育教諭（パートタイム勤務者）を施設区分別に見ると、平均年齢は、「全体」で 45.8 歳であり、施設区分でばらつきはあまりない。

平均勤続年数は、「全体」で 5.1 年であり、「地域型保育」の 3.4 年と他の施設で大きな差がある。

平均時給は、すべての施設区分で 1,000 円を超えており、全ての施設区分で令和 3 年度から改善している。



③ 栄養士（フルタイム勤務者）

栄養士（フルタイム勤務者）は、平均年齢 34.2 歳・平均勤続年数 5.4 年・平均年収 342 万円である。前回調査との比較では、勤続年数、月給、年収が改善されている。

施設区別では、「認定こども園」の給与等が最も高く、施設区分で大きな差が生じている。

従業員規模別では、規模が大きくなるに伴い、給与面も概ね高くなる傾向にある。

【全体平均】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
令和 4 年度	304	34.2	5.4	232,962	644,634	3,421,094	55.9
令和 3 年度	271	33.5	4.6	222,806	686,801	3,227,467	52.2

※「平均月給」は、賞与を除き、全ての手当を含む。

【施設区別別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
保育所	178	34.4	5.3	228,648	623,978	3,353,732	55.8
認定こども園	109	34.0	5.6	242,505	722,738	3,612,908	56.2
地域型保育	17	37.3	5.2	216,944	332,309	2,893,951	48.7

【従業員規模別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
1～9 人	3	37.2	3.9	213,689	172,333	2,736,600	48.7
10～19 人	35	34.2	4.6	225,389	473,023	3,150,666	55.2
20～29 人	94	34.2	5.5	225,652	595,775	3,284,582	54.1
30～39 人	84	34.5	5.7	240,693	721,474	3,601,198	55.0
40～49 人	58	34.8	5.9	234,753	703,150	3,520,190	56.7
50 人以上	30	33.9	4.2	241,520	660,680	3,536,903	56.1

④ 栄養士（パートタイム勤務者）

栄養士（パートタイム勤務者）は、平均年齢 44.6 歳・平均勤続年数 2.5 年・平均月給 87,841 円、時給は 1,098 円である。前回調査との比較では、給与面が改善されている。

施設区別では、「認定こども園」が給与面で低い傾向にあるが、勤務時間、日数が少ないことが影響している。なお、「認定こども園」はフルタイムの栄養士を配置する割合が高い。

従業員規模別では、平均勤務時間、日数、給与面にそれぞればらつきがあり、施設規模別の傾向は見られない。

【全体平均】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
令和 4 年度	67	44.6	2.5	4.4	16.6	87,841	1,098	50.1
令和 3 年度	47	42.0	3.3	5.2	15.8	84,454	973	56.7

【施設区別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
保育所	28	43.3	3.0	4.6	17.4	91,820	1,169	50.9
認定こども園	14	47.1	1.4	3.8	14.3	72,789	991	47.6
地域型保育	25	45.2	2.6	4.5	17.1	91,815	1,077	48.0

【従業員規模別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
1～9 人	2	46.0	3.0	2.6	9.8	49,971	1,032	46.5
10～19 人	22	44.6	2.4	4.7	17.8	96,105	1,082	50.2
20～29 人	14	40.8	1.6	4.9	18.6	109,950	1,401	51.1
30～39 人	22	45.0	3.0	3.9	15.0	70,963	973	49.2
40～49 人	5	38.0	3.4	5.0	19.1	99,661	1,045	53.9
50 人以上	2	43.8	3.2	2.3	8.9	36,175	1,093	59.8

⑤ 調理員（フルタイム勤務者）

調理員（フルタイム勤務者）は、平均年齢 48.0 歳・平均勤続年数 7.4 年・平均年収 305 万円である。前回調査との比較では、月給、年収がわずかに改善されている。

施設区分別では、「地域型保育」の賞与・年収が他の区分より低い結果となっている。

従業員規模別では、各項目にばらつきがあり、大きな傾向は見られない。

【全体平均】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
令和 4 年度	245	48.0	7.4	210,761	552,620	3,051,620	50.9
令和 3 年度	224	46.9	7.4	206,902	647,067	2,946,602	49.8

※「平均月給」は、賞与を除き、全ての手当を含む。

【施設区分別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
保育所	163	48.3	7.9	210,883	562,909	3,079,685	49.1
認定こども園	59	46.9	7.0	208,554	531,908	2,998,494	51.0
地域型保育	23	46.1	5.0	215,564	310,120	2,829,466	46.3

【従業員規模別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)	平均年休 消化率(%)
1～9 人	4	52.3	7.5	203,558	358,544	2,801,238	50.0
10～19 人	34	46.0	6.3	212,404	420,014	2,919,443	52.2
20～29 人	79	47.9	7.1	210,617	583,968	3,074,415	51.4
30～39 人	82	48.4	8.7	214,607	574,311	3,135,591	51.0
40～49 人	34	47.3	6.7	203,265	535,061	2,942,769	56.2
50 人以上	12	46.6	6.1	204,414	335,375	2,788,347	49.4

⑥ 調理員（パートタイム勤務者）

調理員（パートタイム勤務者）は、平均年齢 51.4 歳・平均勤続年数 3.2 年・平均月給 80,932 円、時給は 980 円である。前回調査との比較では、給与面が僅かに改善されている一方で、勤続年数は低くなっている。

施設区分別では、「地域型保育」の勤務時間・日数が少ないため、月給もそれに伴い低くなっている。

従業員規模別では、施設規模が大きくなるにつれて、概ね勤務時間・日数が増え、月給も高くなる傾向にある。

【全体平均】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
令和 4 年度	747	51.4	3.2	4.4	16.6	80,932	980	57.2%
令和 3 年度	584	50.9	4.6	5.2	16.9	79,377	935	58.8%

【施設区分別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
保育所	356	51.0	4.0	4.4	16.8	81,623	973	57.8%
認定こども園	218	51.8	2.5	4.8	18.1	87,390	966	58.1%
地域型保育	173	52.2	2.5	3.7	14.2	71,372	1,012	56.6%

【従業員規模別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)	平均年休 消化率(%)
1～9 人	21	52.0	6.1	3.9	14.8	75,742	1,036	59.8
10～19 人	161	49.4	2.2	4.0	15.1	75,771	1,013	57.4
20～29 人	180	52.1	2.8	4.3	16.4	79,055	970	58.5
30～39 人	206	53.1	3.5	4.6	17.4	84,340	975	61.4
40～49 人	99	51.5	4.2	4.6	17.5	84,323	962	55.9
50 人以上	80	49.0	3.5	4.6	17.5	83,933	956	51.9

⑦ 事務職員（フルタイム勤務者）

事務職員（フルタイム勤務者）は、今回の調査から対象とした。平均年齢は 46.4 歳・平均勤続年数 9.4 年・平均年収 405 万円となった。

施設区分別では、給与面で「認定こども園」が最も高く、「保育所」、「地域型保育」と大きく差が生じている。

従業員規模別では、規模が大きくなるに伴い、勤続年数も長くなり、年収も高くなる傾向にある。

【全体平均】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給※ (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)
令和 4 年度	201	46.4	9.4	279,455	795,137	4,055,035

※「平均月給」は、賞与を除き、全ての手当を含む。

【施設区分別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)
保育所	81	46.2	9.1	260,683	760,680	3,860,698
認定こども園	110	49.9	9.6	295,621	832,626	4,332,688
地域型保育	10	42.1	8.6	249,275	454,839	2,574,974

【従業員規模別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	平均月給 (円)	平均賞与 (円)	平均年収 (円)
1～9 人	0	-	-	-	-	-
10～19 人	14	49.3	6.2	252,336	507,493	3,174,236
20～29 人	52	46.9	7.8	259,853	804,270	3,725,241
30～39 人	45	46.4	10.2	274,152	906,707	4,176,381
40～49 人	50	47.1	9.3	277,387	737,596	4,066,237
50 人以上	40	48.6	11.5	321,324	805,782	4,641,530

⑧ 事務職員（パートタイム勤務者）

事務職員（パートタイム勤務者）は、今回の調査から対象とした。平均年齢 47.1 歳・平均勤続年数 3.9 年・平均月給 114,571 円、時給は 1,266 円である。

施設区分別では、「保育所」「地域型保育」に比べて、「認定こども園」の時給、月給が低くなっている。
従業員規模別では、各項目にばらつきがあり、大きな傾向は見られない。

【全体平均】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)
令和4年度	138	47.1	3.9	4.6	17.5	114,571	1,266

【施設区分別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)
保育所	54	43.7	5.1	5.0	19.1	143,638	1,442
認定こども園	68	48.9	3.6	4.5	17.0	93,788	1,096
地域型保育	16	42.8	1.3	3.7	13.9	103,980	1,394

【従業員規模別】

	サンプル数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数(年)	勤務時間 (時間/日)	勤務日数 (日間/月)	平均月給 (円)	平均時給 (円)
1～9人	4	43.9	4.0	2.3	8.9	50,292	1,154
10～19人	17	48.2	2.0	4.5	16.9	144,349	1,659
20～29人	30	46.2	2.3	3.9	14.9	98,454	1,382
30～39人	52	47.6	4.9	5.0	19.0	128,307	1,228
40～49人	17	49.2	5.7	4.6	17.6	106,802	1,157
50人以上	18	46.1	4.1	5.1	19.3	92,075	990

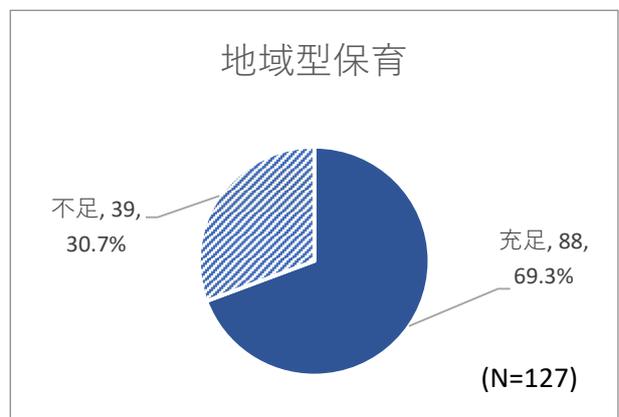
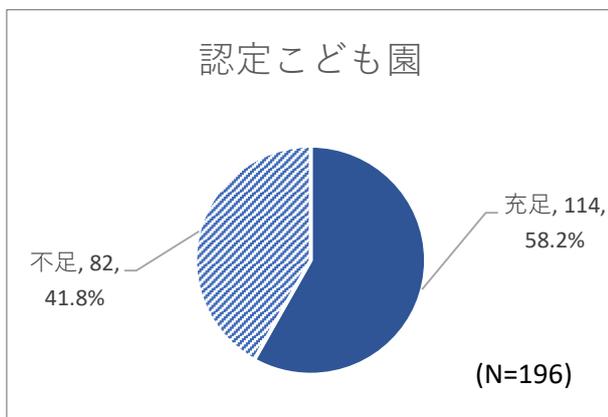
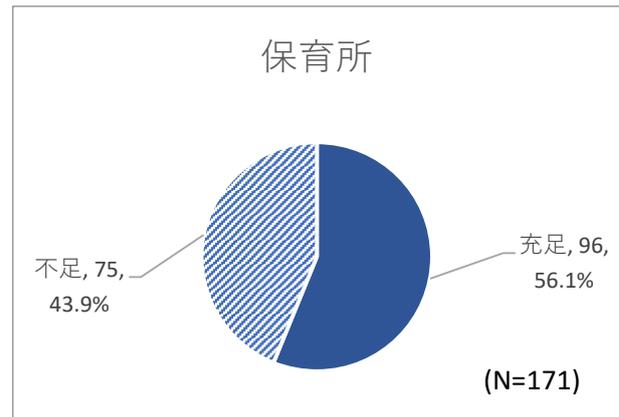
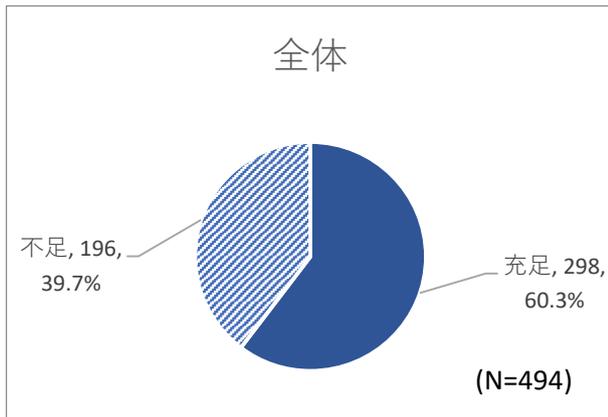
(4) 保育士・保育教諭等の人材確保状況

① 保育士・保育教諭の充足状況

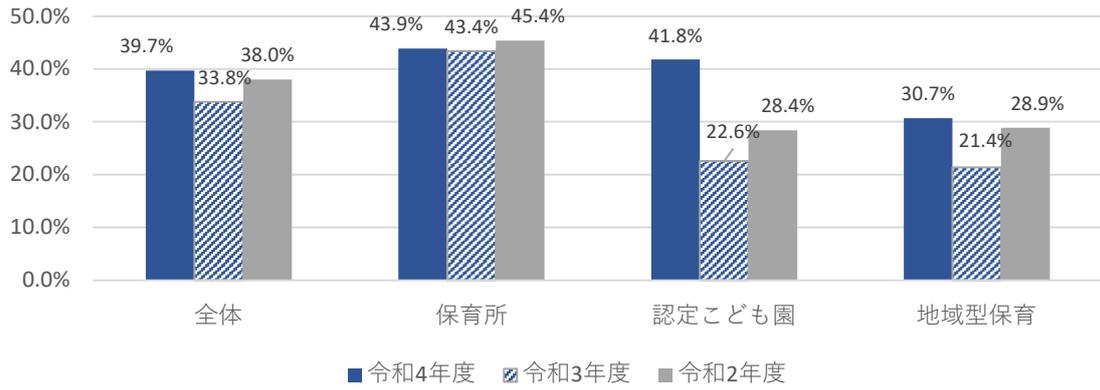
保育士・保育教諭の充足状況については、「充足している」施設が 298 施設 (60.3%) に対し、「不足している」施設は 196 施設 (39.7%) となった。

過去 2 年との比較では、令和 4 年度の「不足している」施設の割合が最も高い結果となり (令和 4 年度 : 39.7%、令和 3 年度 : 33.8%、令和 2 年度 : 38.0%)、このうち「認定こども園」は、「令和 3 年度 : 22.6%」から「令和 4 年度 : 41.8%」と大きく増加している。これは、令和 3 年度から令和 4 年度において、「保育所」は 22 施設減少した一方で、「認定こども園」は 46 施設増加 (地域型保育は概ね横ばい) していることから、不足施設の割合、人数にもそれぞれ影響が生じていると考えられる。

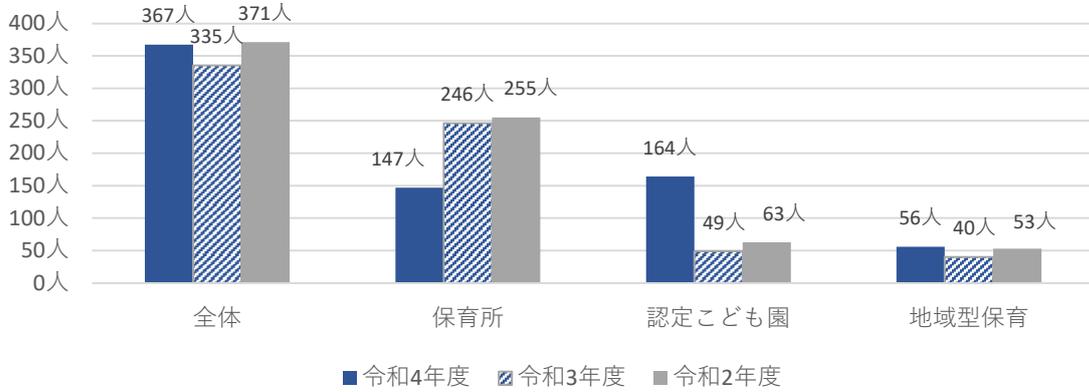
一方、1 施設当たりの不足人数は、過去 2 年と比較して、全ての種別で僅かに減少している。



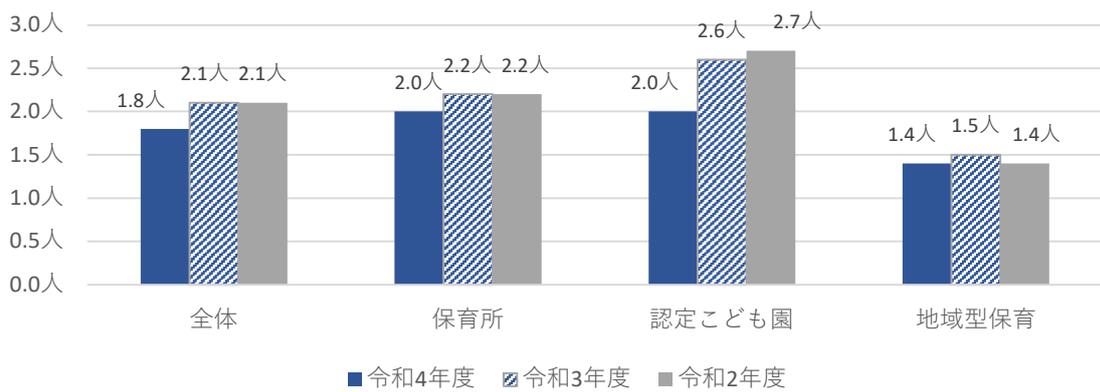
施設別：不足している割合の変化



施設別：不足人数



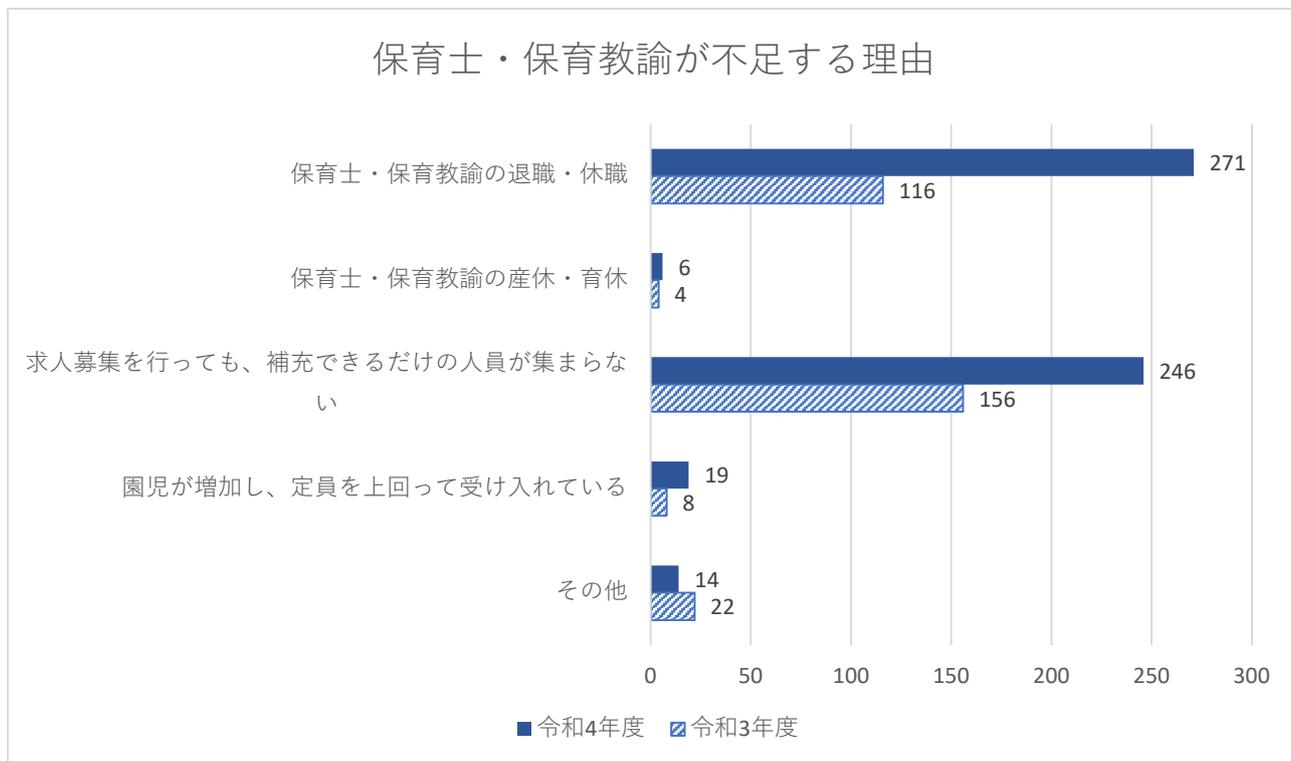
施設別：1施設あたりの平均不足人数



② 保育士・保育教諭が不足する理由（複数回答）

保育士・保育教諭が不足している理由は、「保育士・保育教諭の退職・休職」が 271 施設（75.1%）、次いで「求人募集を行っても、補充できるだけの人員が集まらない」が 246 施設（68.1%）となっている。

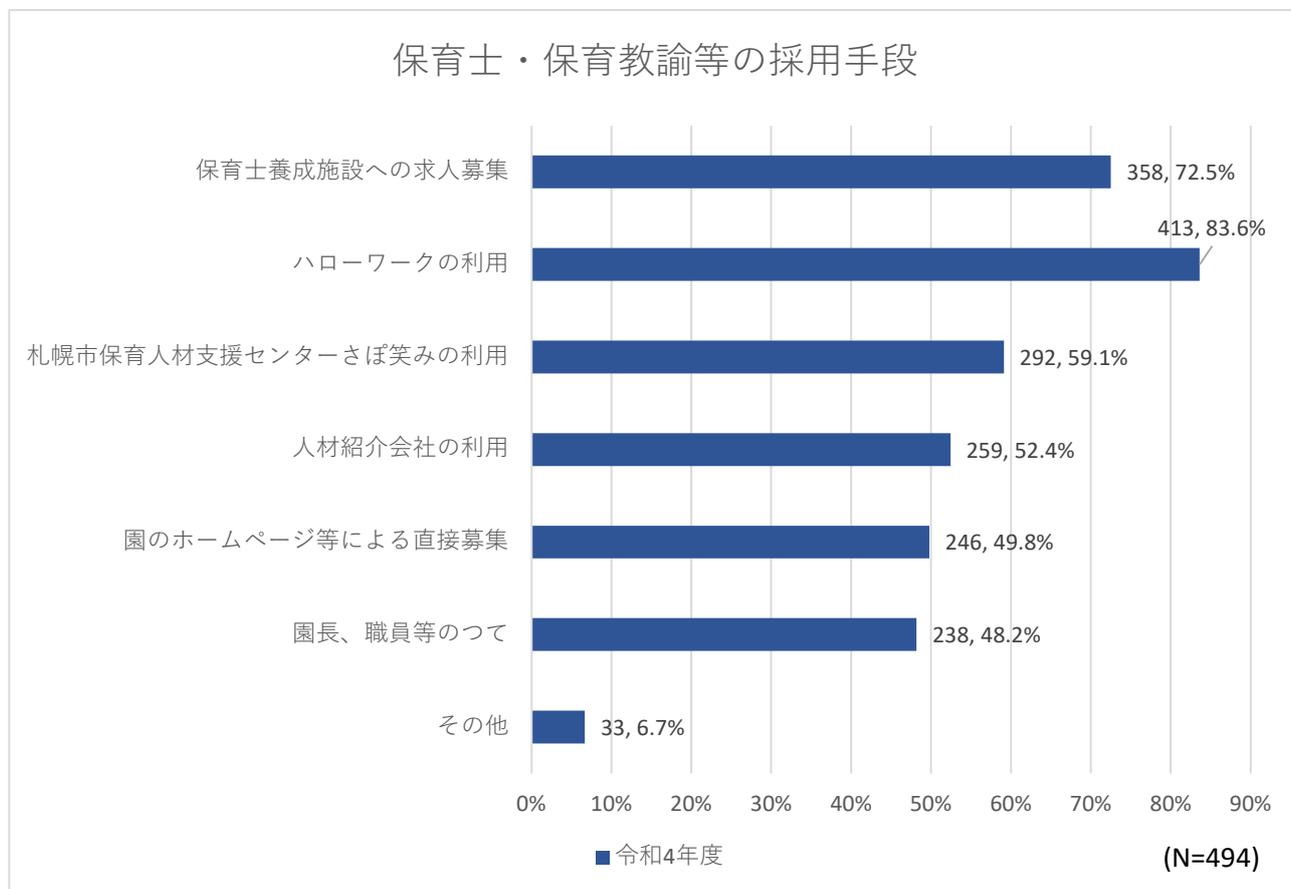
※令和 3 年度調査では、「保育士・保育教諭が不足した施設」にのみ回答を求めたが、今回の調査では、充足した施設も含めて広く回答を求めたことから、全体の回答数が多くなっている。このため、令和 3 年度との比較は参考としてみる必要がある。



	保育士・保育教諭の退職・休職		保育士・保育教諭の産休・育休		求人募集を行っても、補充できるだけの人員が集まらない		園児が増加し、定員を上回って受け入れている		その他	
	回答数 (施設)	回答率 (%)	回答数 (施設)	回答率 (%)	回答数 (施設)	回答率 (%)	回答数 (施設)	回答率 (%)	回答数 (施設)	回答率 (%)
保育所 (N=139)	110	79.1	1	0.7	101	72.7	8	5.8	2	1.4
認定こども園 (N=153)	115	75.2	5	3.3	103	67.3	5	3.3	7	4.6
地域型保育 (N=69)	46	66.7	0	0.0	42	60.9	6	8.7	5	7.2
計 (N=361)	271	75.1	6	1.7	246	68.1	19	5.3	14	3.9

③ 保育士・保育教諭等の採用手段（複数回答）（新規）

保育士・保育教諭等の採用手段は、「ハローワークの利用」が413施設（83.6%）、「保育士養成施設への求人募集」358施設（72.5%）、「札幌市保育人材支援センターさぼ笑みの利用」292施設（59.1%）の順となっている。複数の手段を併用している園が多いことがわかる。



2. 保育士養成校に対する調査

2.1 調査の概要

(1) 調査概要

調査目的：札幌市内及び近郊の保育士養成校における卒業生の進路などについて調査することで、
保育人材の確保や就業継続の支援、次世代の育成といった取組の効果測定や事業の立案等
に向けた基礎資料とする。

調査対象：札幌市内及び近郊で、保育士を養成する学科を設置している学校

対象数：18校（大学6校、短期大学5校、専門学校7校）

対象施設：五十音順

大 学：札幌学院大学、札幌国際大学、星槎道都大学、藤女子大学、北海道文教大学、
北翔大学

短期大学：光塩学園女子短期大学、札幌国際大学短期大学部、札幌大学女子短期大学部、
札幌大谷大学短期大学部、北翔大学短期大学部

専門学校：せいとく介護こども福祉専門学校、経専北海道保育専門学校、札幌こども専門
学校、札幌スポーツ&メディカル専門学校、札幌医療秘書福祉専門学校、
専門学校北海道福祉・保育大学校、大原医療福祉専門学校

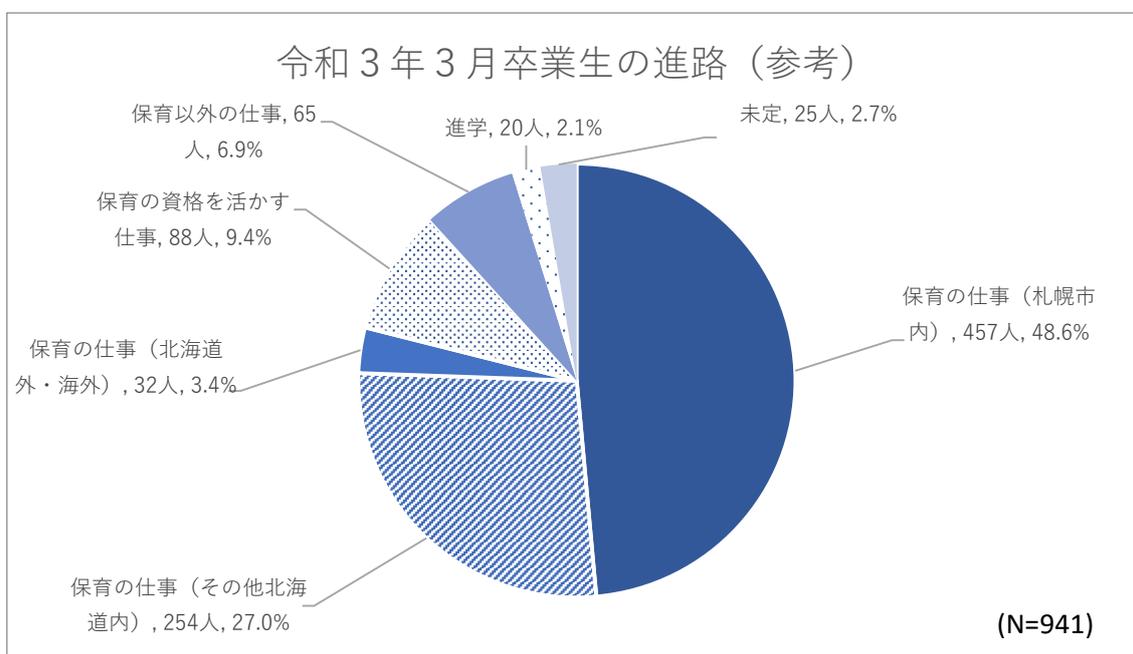
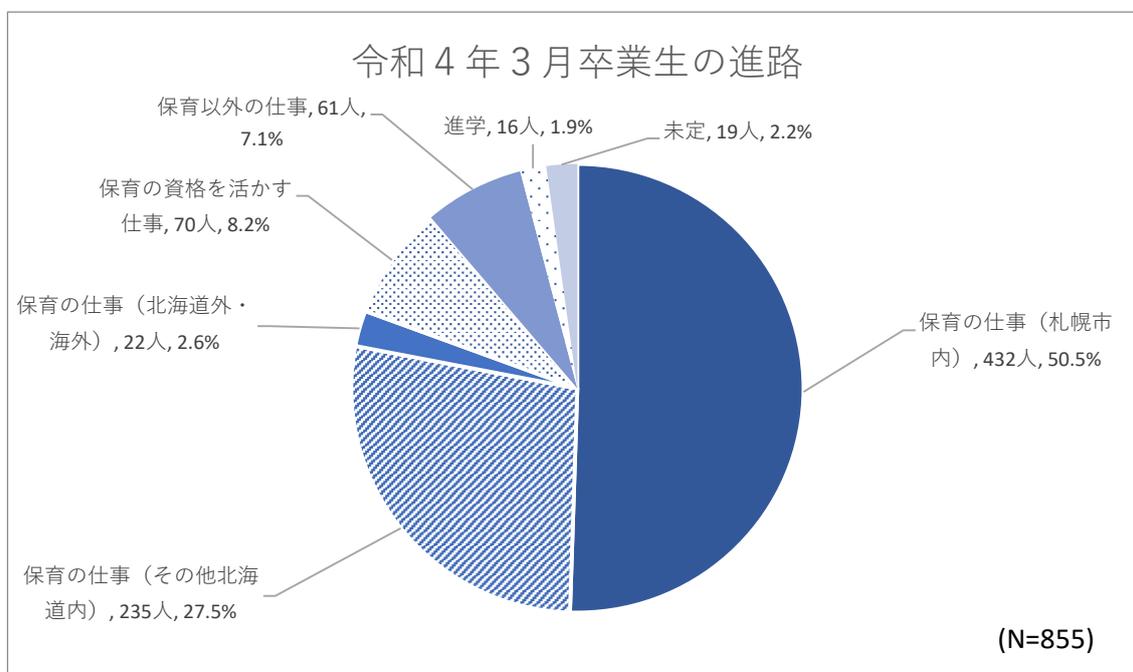
調査時期：令和5年3～4月

回答数：16校（回答率88%）

(2) 卒業後の進路

令和4年3月卒業の学生の進路については、「保育の仕事」に就職した割合が全体で80.6%となった。内訳は、札幌市内が432人(50.5%)、札幌市以外の道内が235人(27.5%)、道外22人(2.6%)となっている。

令和3年3月卒業生との比較では、札幌市内で就職する割合が僅かに増えているが、全体の傾向に大きな変化はない。



【令和4年3月卒業生の進路：学校種別】

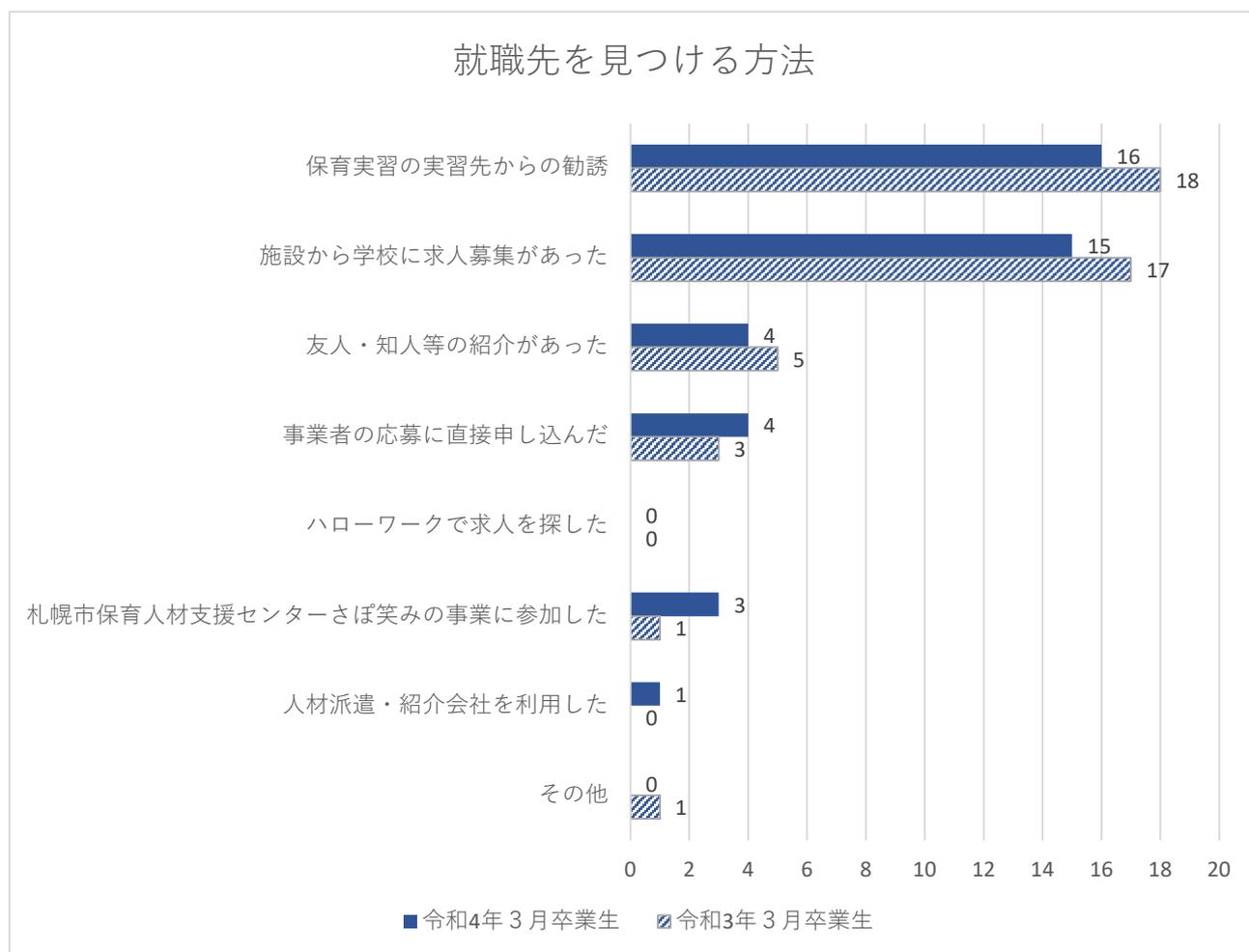
		大学		短期大学		専門学校		合計	
		学生数 (人)	割合 (%)	学生数 (人)	割合 (%)	学生数 (人)	割合 (%)	学生数 (人)	割合 (%)
保育園・認定こども園・幼稚園などで、保育の仕事について	札幌市内	76	37.6	190	54.6	166	54.4	432	50.5
	その他北海道内	42	20.8	102	29.3	91	29.8	235	27.5
	北海道外・海外	9	4.5	5	1.4	8	2.6	22	2.6
	小計	127	62.9	297	85.3	265	86.9	689	80.6
福祉施設など保育資格が活かせる仕事について	札幌市内	13	6.4	13	3.7	21	6.9	47	5.5
	その他北海道内	6	3.0	2	0.6	13	4.3	21	2.5
	北海道外・海外	1	0.5	0	0.0	1	0.3	2	0.2
	小計	20	9.9	15	4.3	35	11.5	70	8.2
保育以外の仕事について	札幌市内	23	11.4	5	1.4	4	1.3	32	3.7
	その他北海道内	17	8.4	3	0.9	0	0.0	20	2.3
	北海道外・海外	7	3.5	1	0.3	1	0.3	9	1.1
	小計	47	23.3	9	2.6	5	1.6	61	7.1
進学		1	0.5	15	4.3	0	0.0	16	1.9
未定		7	3.5	12	3.4	0	0.0	19	2.2
計		202	100.0	348	100.0	305	100.0	855	100.0

【令和3年3月卒業生の進路：学校種別】（参考）

		大学		短期大学		専門学校		合計	
		学生数 (人)	割合 (%)	学生数 (人)	割合 (%)	学生数 (人)	割合 (%)	学生数 (人)	割合 (%)
保育園・認定こども園・幼稚園などで、保育の仕事について	札幌市内	81	36.2	196	52.5	180	52.3	457	48.6
	その他北海道内	54	24.1	109	29.2	91	26.5	254	27.0
	北海道外・海外	12	5.4	5	1.3	15	4.4	32	3.4
	小計	147	65.6	310	83.1	286	83.1	743	79.0
福祉施設など保育資格が活かせる仕事について	札幌市内	17	7.6	14	3.8	24	7.0	55	5.8
	その他北海道内	6	2.7	2	0.5	23	6.7	31	3.3
	北海道外・海外	1	0.4	0	0.0	1	0.3	2	0.2
	小計	24	10.7	16	4.3	48	14.0	88	9.4
保育以外の仕事について	札幌市内	19	8.5	8	2.1	5	1.5	32	3.4
	その他北海道内	19	8.5	4	1.1	2	0.6	25	2.7
	北海道外・海外	7	3.1	0	0.0	1	0.3	8	0.9
	小計	45	20.1	12	3.2	8	2.3	65	6.9
進学		1	0.4	18	4.8	1	0.3	20	2.1
未定		7	3.1	17	4.6	1	0.3	25	2.7
計		224	100.0	373	100.0	344	100.0	941	100.0

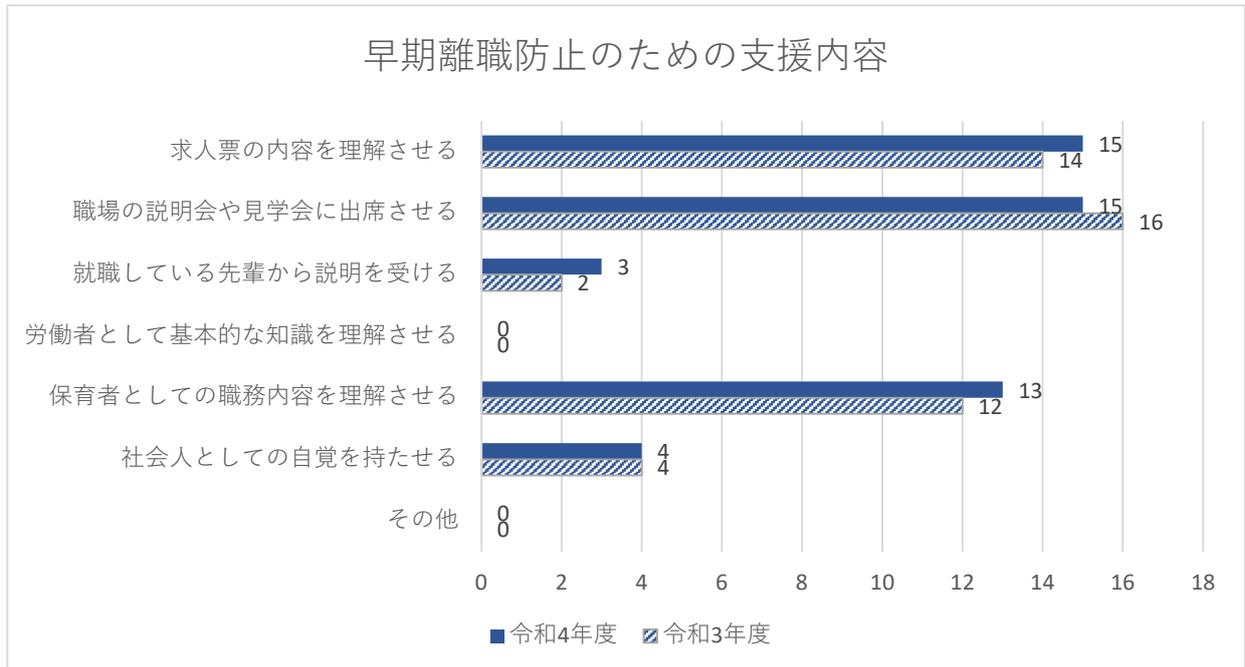
(3) 就職先を見つける方法

「保育の仕事」に就職した卒業生は、どのような方法で就職先を見つけるケースが多いかについて尋ねると、「保育実習の実習先からの勧誘」が16校（100.0%）、「施設から学校に求人募集があった」15校（93.7%）がほとんどであり、前回も同様の傾向であった。



(4) 早期離職を防ぐための支援

早期離職を防ぐために、学校としてどのような支援を行っているかを尋ねたところ、「職場の説明会や見学会に出席させる」、「求人票の内容を理解させる」が同率で15校(93.7%)と最も多く、「保育者としての職務内容を理解させる」の13校(81.2%)が続いている。



(5) 学生に人気の高い保育施設の傾向

学生に人気の高い保育施設の傾向を尋ねると、「職場の雰囲気が良い」16校(100.0%)が最も多い。以下、「給与が他施設より高い」12校(75.0%)、「勤務地が自宅から近い」11校(68.7%)、「住宅手当など福利厚生が充実」10校(62.5%)の順で続いており、前回調査も概ね同様の傾向であった。

